



ニュースリリース

クロノス・グループと Web3D コンソーシアム、標準作業策定の協議会を設立

広がるコネクテッド 3D 製品の市場採用促進のため、X3D と COLLADA 間の相乗効果に努力

2007 年 4 月 17 日、イタリア・ペルージャ「Web3D シンポジウム」 - オープンでロイヤリティ無料の業界標準 API 仕様の策定と開発の支援を行う Khronos™ Group (以下: クロノス・グループ)と Web3D™コンソーシアムは、両団体間でドラフト仕様およびフィードバック作業を可能とする協議会設立で合意したと発表しました。協議会によってモバイル、組み込みデバイをはじめ Web 上のコネクテッド 3D 市場の成長を推し進めるために、両グループの標準仕様の提携や組み合わせが可能となります。協議会は、まず X3D と COLLADA 間の相乗効果の実行に取り組む予定です。両標準がどのようにお互いを補完しあうかに関するホワイトペーパーは次の URL でご覧いただけます。

www.khronos.org/collada/presentations/Developing_Web_Applications_with_COLLADA_and_X3D.pdf

COLLADA はメッシュ・ジオメトリ、スキニング、モーフィング、アニメーション、データ・バリデーションといった主要機能を持つ、XML ベースのクロス・プラットフォーム対応シェーダー/エフェクト・定義です。COLLADA はハンドヘルド機器を含むさまざまなプラットフォーム上で、リアルタイム・プレーバック用の 3D ジオメトリやテクスチャを自動的に調整可能なコンテンツ制作環境を可能とします。COLLADA は、複数のフォーマットにおけるオーサリングデータを表示し、高レベルディスクリプションを使用するコンテンツツールから、最適化やプラットフォーム独自の仕様を必要とするランタイムアプリケーション間を包括するアセット変換を可能とします。

X3D は、XML ベースの 3D アセット表示に特化したデリバリーフォーマットであり、主に Web 上のインタラクティブアプリケーションに必要な情報を提供します。X3D は、ピッキング、ビューイング、ナビゲーション、スクリプトを可能とする固有のランタイムアプリケーションを含むビヘイビアおよびインタラクションを指定し、ランタイム時にシーングラフを操作する API を定義します。

Yumetech 社の CEO で Web3D コンソーシアムのプレジデントを務めるアラン・ハドソンはこうコメントしています。「COLLADA と X3D という XML ベースのスタンダード間では、既に緊密な相乗効果が生まれていますが、今回の提携によってリアルタイム X3D アプリケーションは COLLADA ベースのオーサリング環境からシームレスな恩恵を得ることができるでしょう。クロノスは、OpenGL®ES を用いたモバイル・アクセラレーション 3D の基盤を確立しているので、Web3D にとって広範囲にわたる組み込みデバイス上で強力な X3D アプリケーションをアクセラレートする標準との緊密な連携ができるという大いなる恩恵をうけることでしょう。」

NVIDIA 社組み込みコンテンツ担当バイスプレジデントで、クロノス・グループのプレジデントを務めるニール・トレベットはこうコメントしています。「私たちは、今まさにモバイル 3D アプリケーションの革命の中にいます。Web3D コンソーシアムは、リアルタイムやコネクテッド 3D を医療イメージ、軍用シミュレーション、地理情報、CAD および Web ベー

Khronos Group 発表プレスリリースの抄訳

スのビジュアライゼーション市場に多大な技術革新をもたらしてきました。この協議会は、さまざまな分野において両団体の相乗効果を作り出す画期的な出来事であり、大きな可能性を秘めています。」

Khronos Group について

The Khronos™ Group は、会員企業の会費によって運営されるコンソーシアムで、さまざまなプラットフォームやデバイス上で、ダイナミックなメディア・オーサリング/プレーバックを可能とする、ハードウェア/ソフトウェア製品市場の成長のため、OpenKODE™、OpenGL® ES、OpenMAX™、OpenVG™、OpenSL ES™、OpenML™、COLLADA™ といった、オープンでロイヤリティ無料の業界標準 API 開発の支援を行っています。会員企業は Khronos API 仕様開発に参画できるほか、一般公開前のさまざまな段階での投票、仕様ドラフトや順応テスト向けのアーリーアクセスを通して、最先端 3D グラフィックス・プラットフォームやアプリケーションの提供を推進可能です。最新情報は Web サイトで公開されています(www.khronos.org)。

Web3D コンソーシアムについて

Web3D コンソーシアムは、元々VRML 1.0 および 2.0 仕様の開発として普及した、Web ベースの 3D レンダリング仕様に特化した非営利の国際組織です。今日、Web3D コンソーシアムは広範囲にわたる業界の支援を受けて、アプリケーション、ネットワークおよび Web サービス間の 3D を結びつける X3D 仕様の開発を行っています。ISO、W3C および Open GIS コンソーシアムとの良好な関係を通して、Web3D コンソーシアムは標準策定作業の維持と拡張を行っています。Web3d コンソーシアムの詳細は www.web3d.org をご覧ください。

###

Khronos, OpenKODE, OpenVG, OpenMAX and OpenSL ES are trademarks of the Khronos Group Inc. Web3D and X3D are trademarks of the Web3D Consortium. COLLADA is a trademark of Sony Computer Entertainment Inc. used by permission by Khronos. OpenGL and OpenML are registered trademarks and the OpenGL ES logo is a trademark of Silicon Graphics Inc. used by permission by Khronos. All other product names, trademarks, and/or company names are used solely for identification and belong to their respective owners.

メディアの方のお問合せ先

ミアキス・アソシエイツ 河西

TEL: 0422-47-5319 Email: kasai@miacis.com

ユーザ・読者の方のお問合せ先

クロノス・グループ日本事務所

Email: khronos@miacis.com

www.khronos.jp